

令和5年度道德教育推進研修 実施要項

1 目的

道德教育は、教育の中核をなすものであり、学校における道德教育は、学校のあらゆる教育活動を通じて行われるべきものである。

そこで、本研修では、道德教育を学校の円滑な運営において基盤となる領域と位置付け、道德教育を担当する教職員や指導主事等に対し、1) 道德教育に関する諸課題の改善に向けて専門的知見を習得し、校長のリーダーシップの下、組織的な取組を推進する力、2) 学校や当該地域の教職員の専門性向上を推進する力、を育むことを目的とする。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 共催 文部科学省

4 期間 令和5年11月8日（水）から令和5年11月10日（金）までの3日間

5 実施方法 Web 会議サービスを用いた同時双方向通信によるオンライン研修

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば本部
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

7 標準定員 120名

8 受講者

(1) 受講資格

- ① 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者
- ② 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭であって、各学校や当該地域の道德教育に関わる研修において講師等として活動を行う者
- ③ 当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生のうち、教職経験のある者

※ 「第5次男女共同参画基本計画」（令和2年12月25日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を25%以上とすることを目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

(2) 推薦人数

推薦する場合、以下のとおりとする。

各都道府県教育委員会においては2名程度とする。各指定都市教育委員会、各中核市教育委員会、各都道府県知事部局、附属学校を置く各国公立大学、国立青少年教育振興機構等においては1名程度とする。

(3) 推薦手続

推薦期限は、令和5年10月4日(水)とする。

各都道府県・指定都市教育委員会等においては、推薦する受講者を取りまとめて、「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(4) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。ただし、定員を超過する場合は、受講者数を調整することがある。そのため、研修システムにより推薦を行う際に、推薦する受講者毎に、推薦順位を入力すること。

9 研修内容

別紙1「日程表」のとおりとする。

10 事前課題

(1) 研修成果活用計画書の作成

受講者および所属長は事前に「研修成果活用計画書」を作成し、提出すること。なお、様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

(2) その他の事前課題

その他の事前課題がある場合は、受講者決定時に別途連絡する。

11 研修成果の活用についての報告と推薦者の配慮事項

本研修は、受講者の研修成果を各学校や当該地域で活用することを前提としている。そのため、研修終了後1年程度の期間を経た後に、研修成果の活用状況（研修企画、研修講師、他校訪問等）についてのアンケート調査を実施する。受講者は、アンケートに回答し、報告すること。

また、推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

12 その他

(1) 所定の課程を修了した受講者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。

(2) 本研修は、Web 会議サービス「Zoom ミーティング」((株)Zoom ビデオコミュニケーションズ)を用いて同時双方向通信を行うオンライン研修である。受講に当たっては、当該ソフトウェアのインストールやインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Web カメラ等の必要機器を備えた端末を、一人一台準備すること。

(3) 受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

(4) 本研修の受講に際し、特別な配慮が必要な者（障害、持病等）を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

令和5年度道徳教育推進研修 日程表 令和5年11月8日(水)～令和5年11月10日(金)

8:45		9:00	9:55		12:15		13:15		15:35		16:00
11月8日 (1日目)	受付	開講に当たって	(第1講) 講義・演習 道徳教育のマネジメントについて 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 堀田 竜次		昼休憩	(第2講) 講義・演習/協議 実践活動や体験活動を通じた道徳教育 ～よりよい生活や人間関係を築くとともに、 自己実現を図ろうとする態度を育む特別活動～ 文部科学省 初等中等教育局 視学官 安部 恭子		リフレクション			
11月9日 (2日目)	受付	イントロダクション	小・中学校部会	(第3講) 講義・演習/協議 特別の教科 道徳の指導と評価 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 堀田 竜次		昼休憩	小・中学校部会	(第4講) 講義・演習/協議 道徳科の指導・助言の在り方 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 堀田 竜次		リフレクション及びzoomの画面共有の確認	
			高等学校部会	(第3講) 講義・演習 人間としての在り方生き方に関する教育の展開 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 井上 結香子			高等学校部会	(第4講) 講義・演習 人間としての在り方生き方に関する教育の構想 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 井上 結香子			
11月10日 (3日目)	受付	イントロダクション	(第5講) 講義・演習/協議 特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育 聖徳大学 名誉教授 吉本 恒 幸		昼休憩	(第6講) 講義・演習/協議 道徳教育を推進するリーダーとして ～よりよい研修プランを作成するために～ 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 井上 結香子		閉講に当たって			

- ※ 1日目の入室開始時刻は8:45からとし、「開講に当たって」を9:00から始めます。
- ※ 2日目、3日目の入室開始時刻は8:45からとし、朝のミーティングを9:15から始めます。
- ※ 各講義の中に協議が随時含まれます。

令和5年度道德教育推進研修
受講に当たっての留意事項

1 研修用 Zoom ミーティング情報について

(1) 研修用 Zoom ミーティング ID 等

ミーティング ID	パスコード
*** ** **	*****

(2) 受付日時

1 日目	2・3 日目
8時45分～9時00分	8時45分～9時15分

2 受講環境・事前接続テスト等について

(1) 受講環境等について

- ◆ インターネットに接続された PC やタブレットを 1 人 1 台用意してください。常時接続が必要なため、通信環境に留意してください。また、研修中はグループ協議を行うため、Web カメラやマイクも御用意ください。

なお、PC は Windows もしくは MacOS を推奨しています。ChromeOS の PC や iPad 等のタブレットでは、Zoom のホワイトボード機能が使用できない場合がありますので御注意ください。

- ◆ 本研修では、演習で Word 形式のファイルを使用します。研修中、Word ファイルが操作できる端末の用意をお願いします。(Zoom に接続する端末と異なる端末でもかまいません。)

(2) 使用システムについて

本研修は、以下のシステムを使用します。各システムのマニュアルは、当機構 Web ページ (<https://www.nits.go.jp/training/relevantdata/elearning.html>) からダウンロードし、必ず一読のうえ、受講いただくようお願いします。

- ◆ Zoom：研修を受講（講義の視聴、グループ協議等）するために使用します。
- ◆ 「学びばこ」：講義資料等のダウンロード、研修に関するアンケートに回答するために使用します。

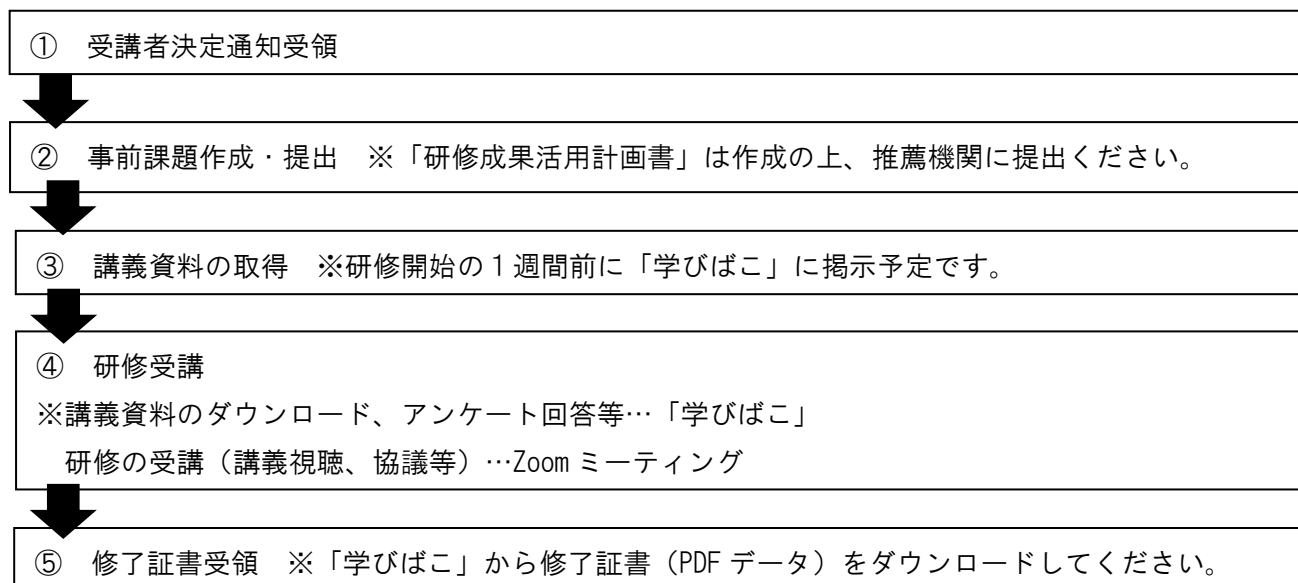
(3) 事前接続テストについて

- ・ Zoom の接続確認のため、テスト日（参加任意）を設けます。（所要時間：5～10分程度）
- ・ Zoom のミーティング ID とパスコードは、研修用と同じになります。

10月30日（月） 9時00分～9時30分、16時30分～17時00分

※上記時間内で任意の開始時刻から5～10分程度で接続確認可能

3 研修受講の流れ



4 事前課題について

【資料3】参照。

事前課題の様式の取得方法・ダウンロードの説明についても記載してあります。

5 携行品について

(1) 研修で使用するため持参する資料等

- ① 各講義資料
- ② 受講者用 Zoom マニュアル
- ③ グループ名簿（グループ協議・演習がある場合に「学びばこ」に掲載いたします）
- ④ その他（各研修で必要とするもの、「学びばこ」から別途周知します）

※受講者用 Zoom マニュアル (<https://www.nits.go.jp/training/relevantdata/elearning.html>)

※「学びばこ」利用マニュアル (<https://www.nits.go.jp/training/relevantdata/elearning.html>)

当機構ホームページ TOP > 研修・セミナー > NITS オンライン研修 受講用ページ > ページ下部

6 講義資料、活用許諾等について

(1) 講義資料の配付方法

研修開催の1週間前を目途に電子データを「学びばこ」に掲載します。

(2) 事前課題の配付方法

ホームページに事前課題の様式を掲示します。

掲示のお知らせは「学びばこ」でも行います。

(3) 講義資料の著作権と活用許諾について

資料活用の許諾の有無、範囲は、各講義資料の表紙に明示します。

(4) 講義の録音、撮影について

著作権及び肖像権の都合上、講義動画の録音、撮影については禁止します。

なお、研修中は、教職員支援機構の事務局が、記録のためにレコーディングをする場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

7 修了証書発行について

本研修の修了証書は「全講義の受講を終了」した受講者に対して発行します。

8 緊急時の連絡について

(1) 教職員支援機構から連絡する場合

緊急時の連絡（自然災害等により研修開始が遅れる場合等）がある場合は、「学びばこ」ログイン後のページ上部に「お知らせ」として掲示します。また、受講推薦時に登録されたメールアドレス宛てに配信します。

(2) 受講者から連絡する場合

遅刻、早退、欠席をする場合は、事前に必ず下記問合せ先及び推薦者（教育委員会等）に連絡してください。研修当日にやむを得ず遅刻、欠席等の事態が生じた際は、下記問合せ先に連絡するとともに、推薦者にも連絡するようお願いいたします。

また、受講途中に受信状況が悪くなり、受講が難しくなった場合は、速やかに下記問合せ先へ連絡してください。

9 その他

(1) 氏名等の確認について

【資料5】に記載されている氏名、情報等を必ず御確認ください。誤り・訂正がある場合は、下記問合せ先までお知らせください。なお、メールアドレスが未登録の場合や誤りがある場合、「学びばこ」で登録・変更を行ってください。（「学びばこ」利用マニュアル2. 参照）

(2) メールを受信設定について

迷惑メールのフィルタリング等の設定を行っている場合は、「@ml(MLIL).nits.go.jp」および「@nits.go.jp」のドメインからのメールを受信できるよう設定してください。

(3) 追加の連絡等がある場合は、学びばこログイン後のページ上部に「お知らせ」として掲示します。

ログイン時、「お知らせ」欄を確認いただくようお願いいたします。

独立行政法人教職員支援機構（大石、相澤）
TEL：029-879-6646, 6631 FAX：029-879-6645
E-mail：t-online@ml.nits.go.jp

取組・課題等について

本研修では、以下の取組を設定しています。

取組時期	内容	取組・提出方法等	提出期限等
研修前	(課題様式1) 研修成果活用 計画書作成	・推薦者の指定する方法により推薦者に提出 ・3日目「研修成果の活用」に持参する ・研修システムに研修の3日前までに提出	推薦者の指定した期日
	Zoomの操作練習	・グループ協議を円滑に進めるため、画面共有 (Zoom マニュアル参照)ができるように練習する	なし(提出不要)
研修期間中 研修終了後	アンケートの記入	・「学びばこ」上で各講義のアンケート及び研修全体に関わるアンケートへ回答する	研修中に御案内予定
研修終了から約1年後	研修成果の活用に関する調査 (アンケート) 回答	研修成果の活用内容、方法に関するアンケートに回答 ※回答方法は回答期日前に別途案内します。	令和6年1月

1. 研修成果活用計画書(課題様式1)

様式(Word ファイル)は、教職員支援機構 Web ページ(<https://www.nits.go.jp/training/102/016.html>)からダウンロードしてください。

(TOP ページ>研修・セミナー>道徳教育推進研修>ページ下部「ダウンロードデータ」)

本研修は、研修後の成果活用を通して、1) 道徳教育に関する諸課題の改善に向けて専門的知見を習得し、校長のリーダーシップの下、組織的な取組を推進する力、2) 学校や当該地域の教職員の専門性向上を推進する力、を育むことを目的としています。本研修の趣旨を踏まえ、各地域や学校において研修成果を活用するために、事前に研修成果活用計画書(課題様式1)を作成してください。

提出期限…推薦者の指定した期日

提出方法…推薦者に提出

2. 研修成果の活用に関する調査(アンケート)回答

研修成果の活用内容、方法に関するアンケートに回答してください。回答方法は回答期日前に別途案内します。

メールマガジン



NITSニュース

01

教育動向 を知る

大学教授等によるコラムを掲載中

02

動画 で学ぶ

校内研修でも活用できる！

「校内研修シリーズ」「実践力向上シリーズ」等をご紹介

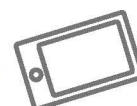
03

NITSの今 がわかる

NITS大賞や調査研究等、最新情報をお届け！



登録方法のご案内



HPにアクセス

スマホをかざして



下記のURLからでも！

登録フォームへ

新規登録方法より

▶ 「NITSニュース」
登録フォーム

ページ中部にあります！

情報の入力

- メールアドレス
- パスワード
- お名前

など

登録

独立行政法人教職員支援機構

メールマガジン「NITSニュース」

【URL】 <https://www.nits.go.jp/service/magazine/>

n | t | s
National Institute for
School Teachers
and Staff Development